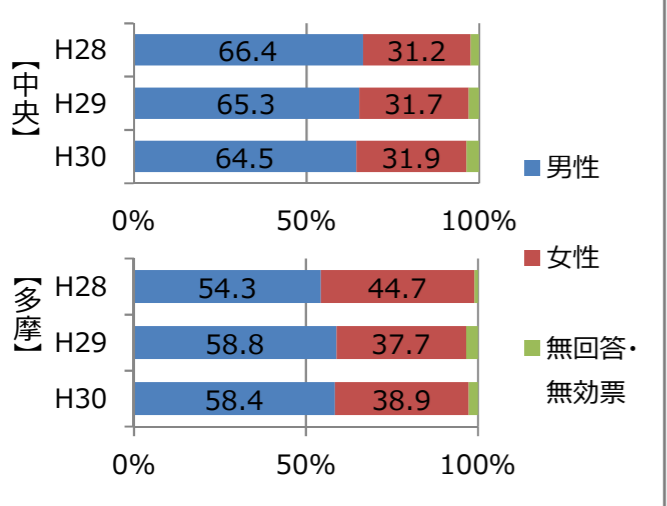


# 東京都立図書館利用実態・満足度調査 3年比較

## 1 利用者属性

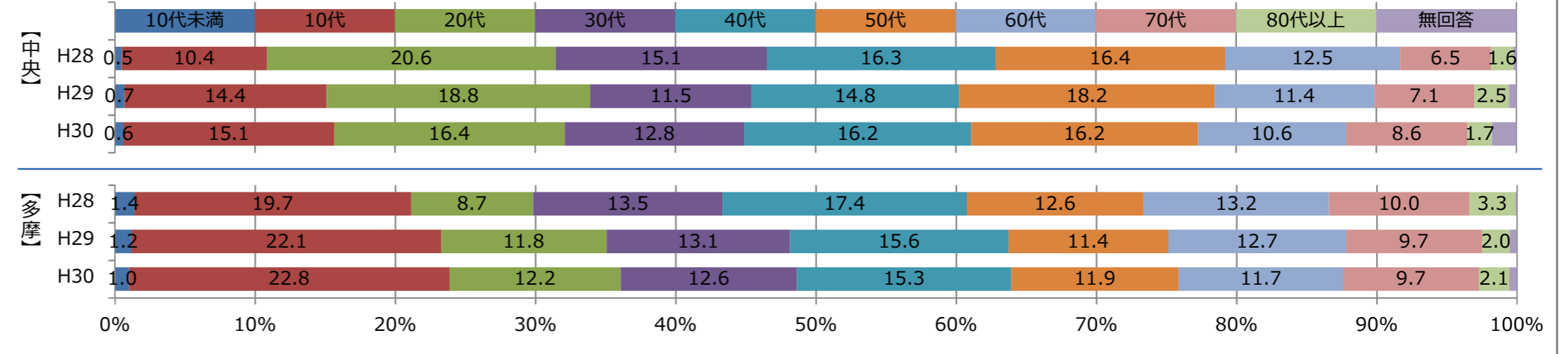
### (1) 性別

・両館とも、男性の割合が高いが、中央図書館では、女性の割合が増加傾向にある。



### (2) 年齢層

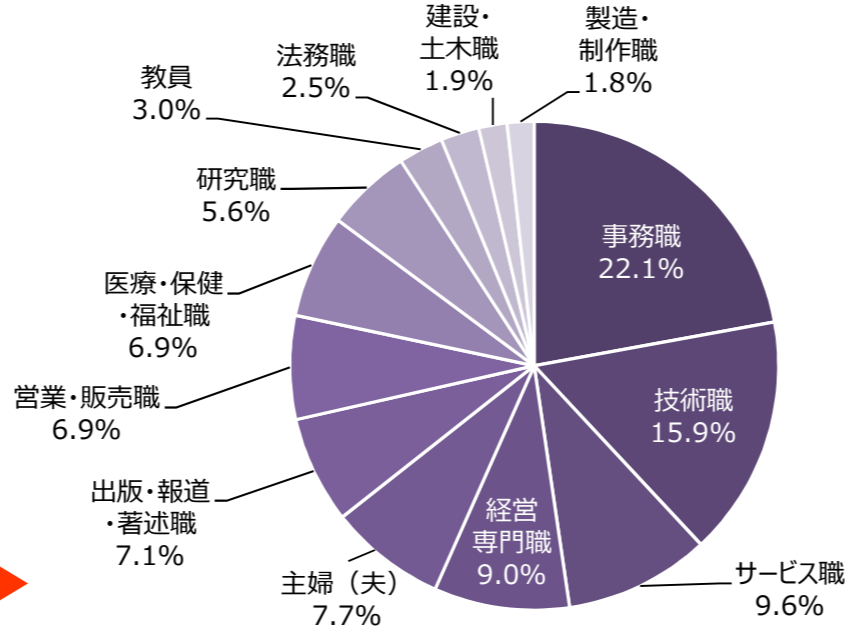
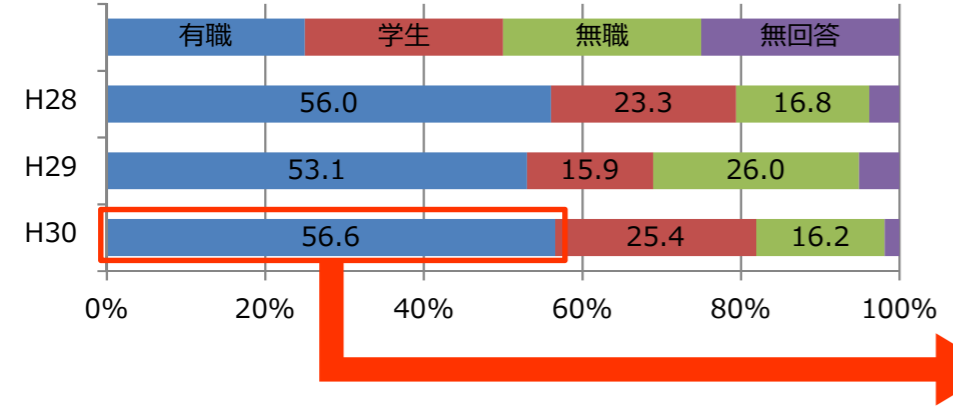
・中央図書館は20代、多摩図書館は40代の割合が最も高い。  
 ・両館とも、10代の割合が年々増加している。多摩図書館では、20代の割合も増加している。



### (3) 職業

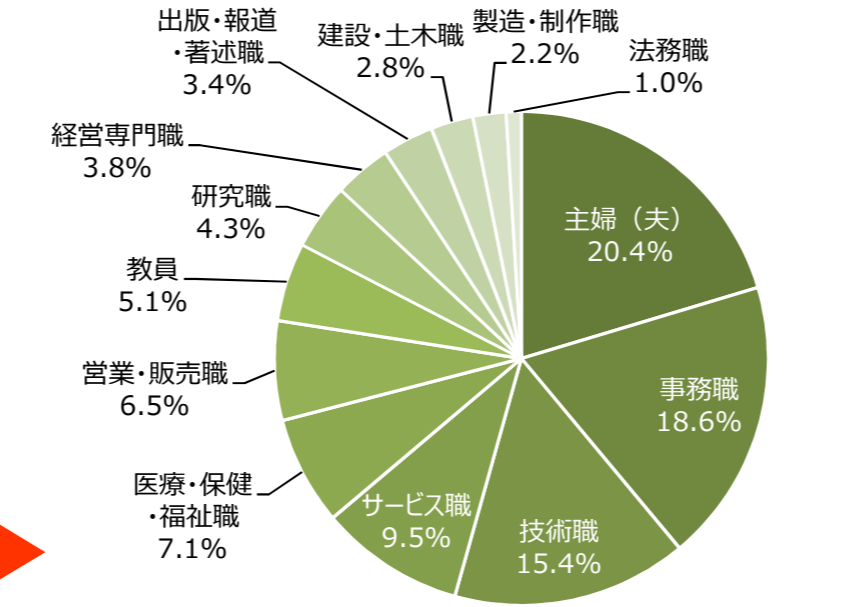
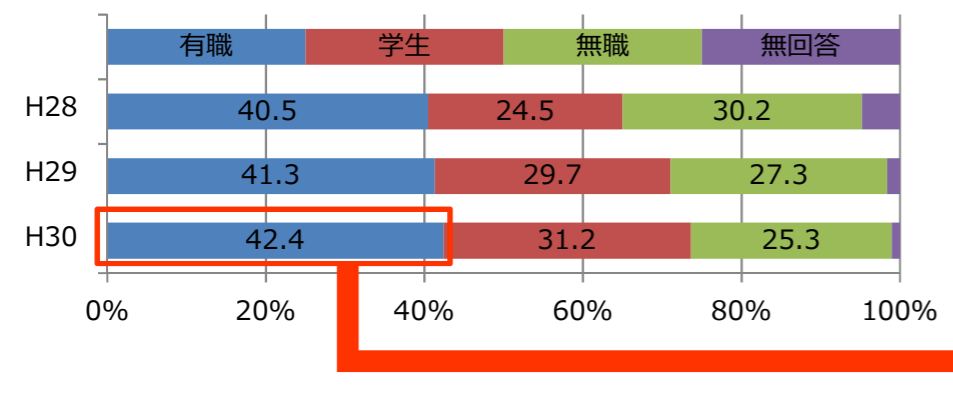
#### 【中央】

・平成30年度の「有職」の割合が、平成28年度以降最も高くなった。  
 ・「有職」の職業内訳では、「事務職」、「技術職」、「サービス職」の順に割合が高い。



#### 【多摩】

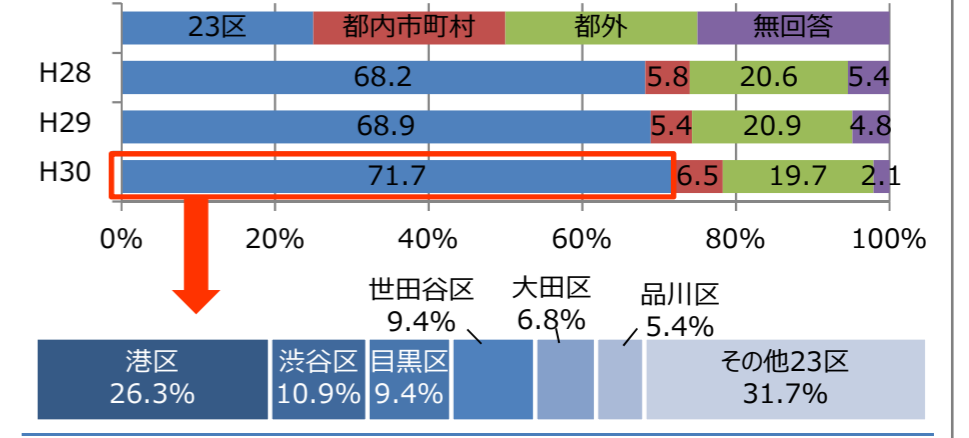
・「有職」、「学生」の割合が増加している。  
 ・「有職」の職業内訳は、「主婦」、「事務職」、「技術職」、「サービス職」の順に割合が高い。



### (4) 居住地

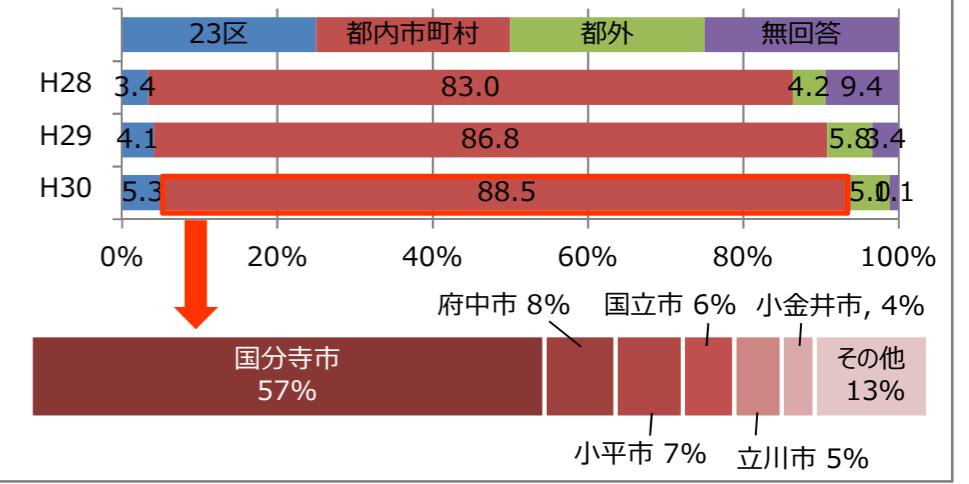
#### 【中央】

・23区に居住する利用者の割合が約7割を占める。  
 ・23区の内訳では、所在地である港区が最も多く、近隣の渋谷区、目黒区等が続く。



#### 【多摩】

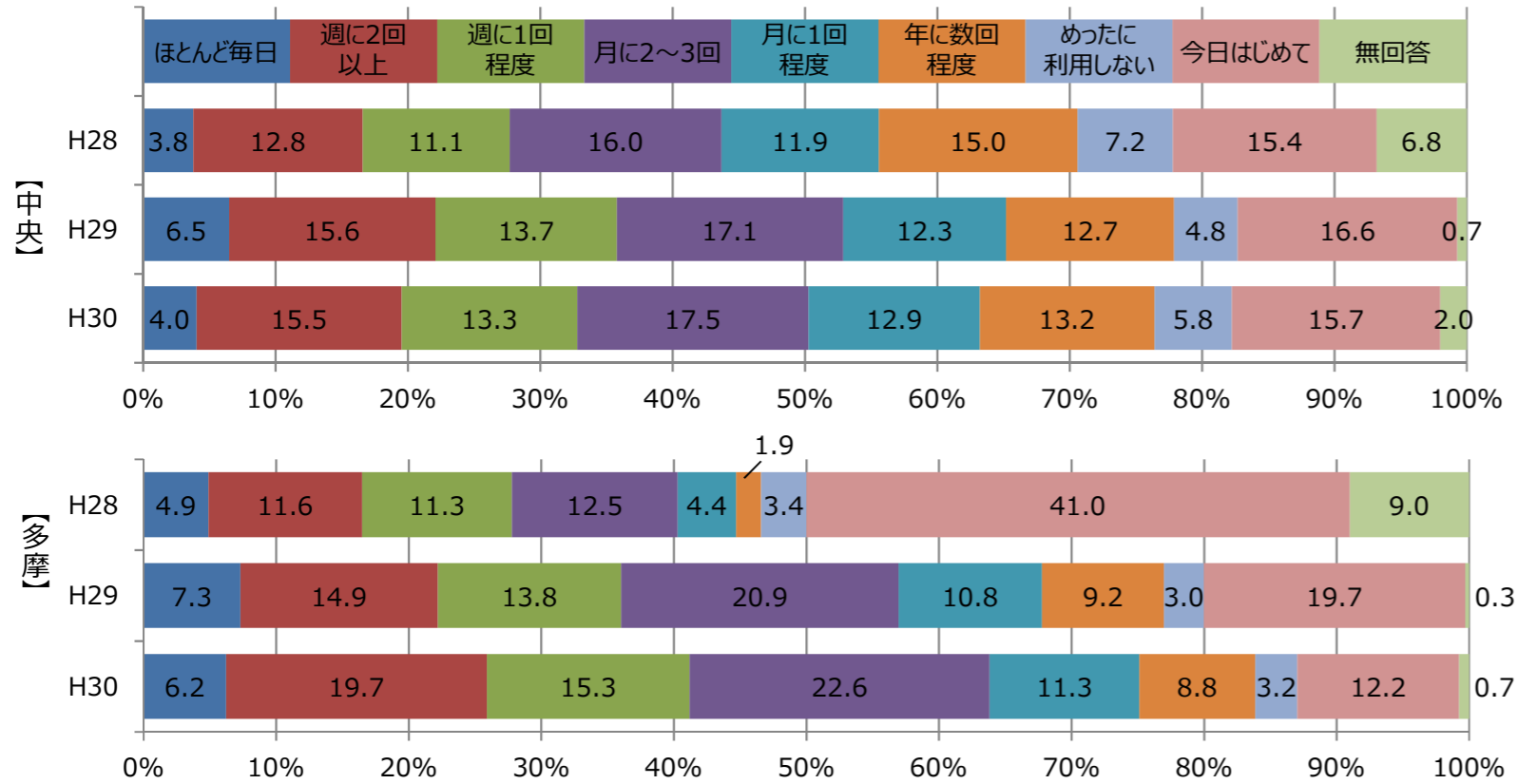
・都内市町村に居住する利用者が8割を超え、所在地である国分寺市に居住する割合は、全体の約5割を占める。



2 利用実態

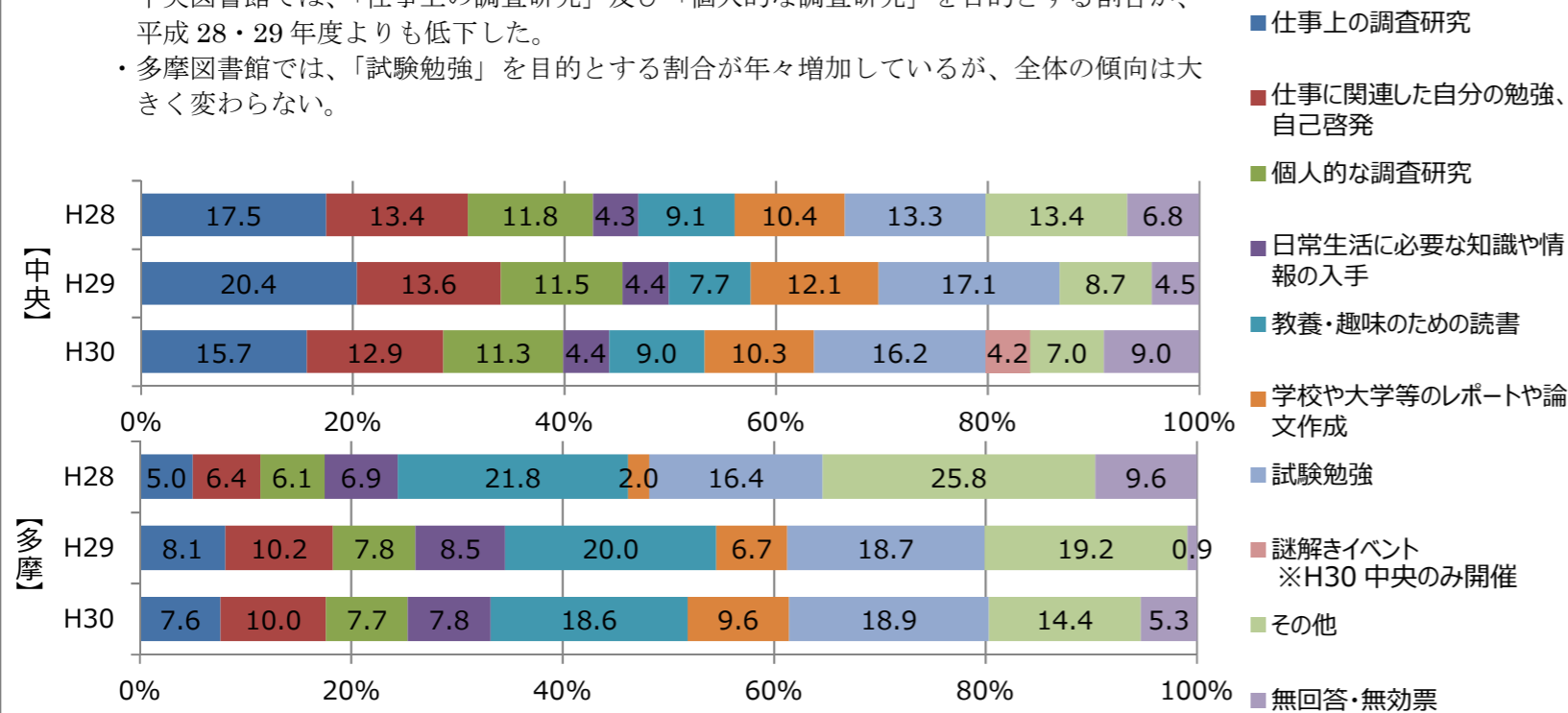
(1) 利用頻度

- 中央・多摩図書館とも、利用頻度については、「月に2～3回」利用する割合が最も高い。
- 中央図書館では、「月に1回程度」以上の頻度で利用するリピーター層の割合が平成29年度に6割を超え、多摩図書館では、年々増加し、平成30年度に7割を超えた。(多摩図書館は、平成28年度に移転オープン)



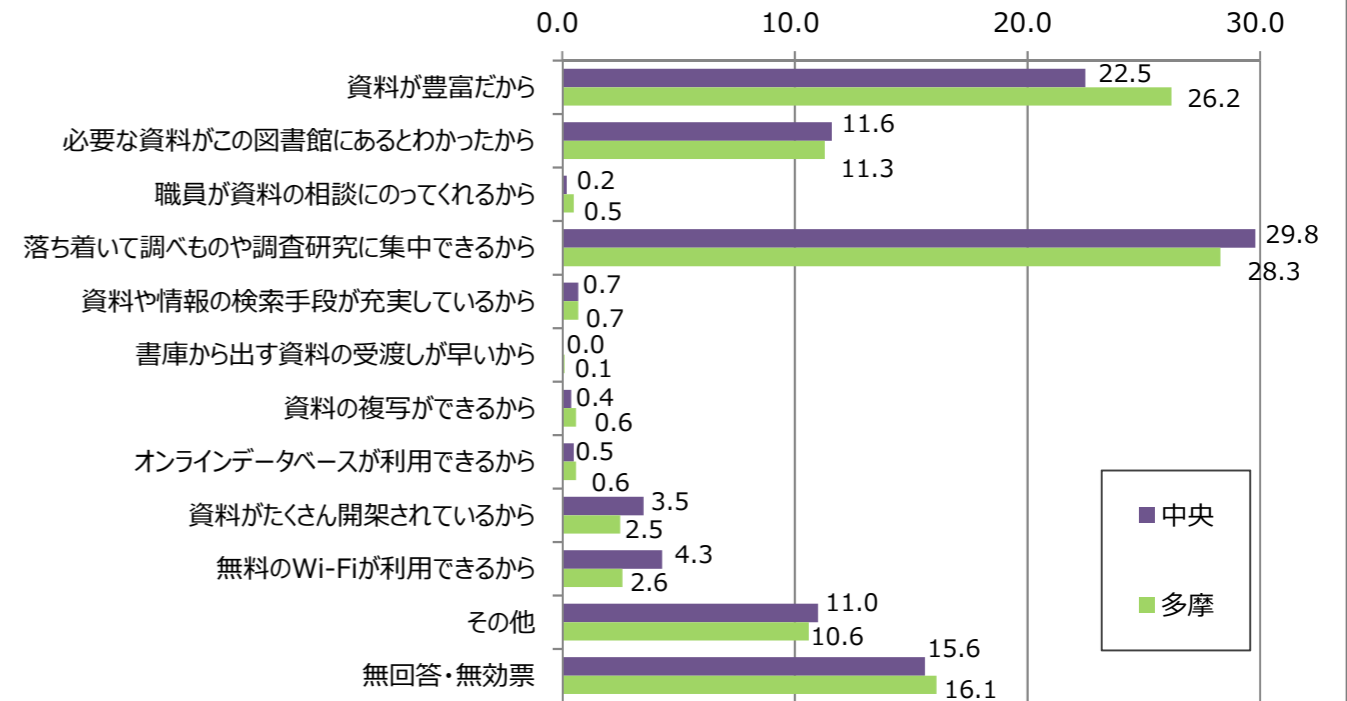
(2) 利用目的

- 中央図書館では、「仕事上の調査研究」及び「個人的な調査研究」を目的とする割合が、平成28・29年度よりも低下した。
- 多摩図書館では、「試験勉強」を目的とする割合が年々増加しているが、全体の傾向は大きく変わらない。



(3) 都立図書館を利用する理由 ※調査項目の内容が変わったため、平成30年度のみ

- 中央図書館・多摩図書館とも、「落ち着いて調べ物や研究に集中できるから」、次いで「資料が豊富だから」の順で割合が高い。



(4) 利用コーナーランキング ※調査項目の内容が変わったため、平成30年度のみ

- 中央・多摩図書館とも、閲覧席の利用の割合が高い。
- 蔵書検索パソコンの利用も上位10位に挙がっている。
- 平成30年度のFree Wi-Fiの利用割合が両館で15%を超え、中央図書館では2割以上の利用者がパソコン電源付きの閲覧席を利用している。

【中央】			【多摩】		
順位	コーナー	割合	順位	コーナー	割合
1	閲覧席 (電源なし)	58.2	1	閲覧席	36.5
2	カフェテリア	28.7	2	雑誌エリア	26.7
3	蔵書検索パソコン	28.5	3	Free Wi-Fi & TOKYO (無料 Wi-Fi)	16.2
4	閲覧席 (パソコン用電源あり)	28.1	4	新聞エリア	12.0
5	Free Wi-Fi & TOKYO (無料 Wi-Fi)	15.9	5	蔵書検索パソコン	11.0
6	資料お渡し・返却カウンター	12.1	6	こどものへや・えほんのこべや	9.3
7	フロア案内	11.4	7	カフェ	9.1
8	総合案内・相談カウンター	10.9	8	資料お渡し・返却カウンター	7.6
9	複写カウンター	10.3	9	青少年エリア	7.5
10	企画展示室	5.2	10	開架書庫	7.5

※複数回答可。中央図書館は、5フロア分を合算